

DOCトリ!

鳥取の地域医療を考えるマガジン ドクトリ！－



特集1

次代を見据え、新たな進化へ
医療で町をつくる
日南病院の挑戦

特集2

鳥取県で医師のキャリアを築く!
私のキャリア紹介 vol.4 整形外科・耳鼻咽喉科編

vol.

14

2026 / Winter

DOCトリ!

第14号
2026年1月発行
鳥取県地域医療支援センター

編集発行

鳥取県地域医療支援センター

〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1(鳥取大学医学部附属病院内)

TEL 0859-38-7005 FAX 0859-38-7006

Eメール: t-chiikicen@med.tottori-u.ac.jp

Webサイト: <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/>

□制作/有限会社キーワード 〒680-0051 鳥取県鳥取市若桜町39 ロゴス文化会館1F TEL 0857-29-4018

i 鳥取県地域医療支援センターからのお知らせ

NEWS

医学生スプリングセミナー
in鳥取2026を開催!

1

鳥取県の地域医療を体験してみませんか?

開催期間 2026年2月下旬～3月下旬(予定)

対象施設 県内の医療機関 約40施設
(総合病院、自治体立病院や診療所など)

※交通費、宿泊費の一部助成あり

鳥取県では、県内外の大学の医学生を対象に、県内の地域医療の現場に触れて、地域医療への関心を高めていただくため、医学生スプリングセミナーを開催します。

県内の様々な特色のある医療機関で、地域の医療現場を体験できる貴重な機会です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています!

応募方法等の詳細は、鳥取県医療政策課ホームページをご覧ください。

※医学生サマーセミナーも8～9月頃に開催します。

応募方法等の詳細は[こちらから!](https://www.pref.tottori.lg.jp/238708.htm)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/238708.htm>

NEWS

第5回キャリア講演会

2

「奨学金制度を利用した先輩医師は、どこでどんなふうに働いているの?」という医学生の疑問にお答えするために、キャリア講演会を今年も開催します。

鳥取県奨学金制度を活用され、現在様々な分野で活躍中の卒業医師に、これまでのキャリアをお話しいただきます。

在学中の地域枠学生や奨学金制度利用をお考えの皆さんの参加をお待ちしています!

開催日時 2026年2月12日(木)

会場 鳥取大学医学部 記念講堂

申し込み方法など詳しくは、鳥取県地域医療支援センターWebサイト「お知らせ」をご覧ください。1月のメールマガジンでも配信予定です。



鳥取県地域医療支援センターについて

鳥取県地域医療支援センターは、鳥取県・鳥取大学医学部附属病院が連携し、鳥取県の地域医療の充実・発展のために2013(平成25)年1月に設置されました。私たちは、鳥取県の医師不足解消のために、地域枠などの医師のキャリア形成支援や医師の地域偏在解消に取り組んでいます。専任医師も勤務しており、皆さまのご相談などを伺っています。

ご相談や
お問い合わせは
こちらまで

鳥取県の医療・
奨学金制度に関するこ

医師のキャリア形成・
相談に関するこ

鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
TEL 0857-26-7195 FAX 0857-21-3048

鳥取大学医学部附属病院 鳥取県地域医療支援センター
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL 0859-38-7005 FAX 0859-38-7006

とっとりドクター Naviのご登録を受付中!

鳥取県の地域医療に関心をお持ちの全国の高校生・医学生・研修医の皆さんに役立つ県内の医療情報や勤務に関する情報、医師としてのスキルアップに関する情報として、「DOCトリ!」やメールマガジンをお届けします。どなたでもご登録いただけます。

とっとりドクター Navi

登録申込フォーム ▶▶▶

<https://www.pref.tottori.lg.jp/273080.htm>



※なお、ご登録情報の変更について、登録申込フォームで承っております。

広報誌名
『DOCトリ!』の由来

「DOCTOR」と「鳥取県」を合わせた造語です。
医師の皆さんに、鳥取県で活躍してほしいという願いが込められています。



「DOCトリ!」の
バックナンバーは
こちら▶▶▶



次代を見据え、新たな進化へ

医療で町をつくる 日南病院の挑戦

日南病院では今、巡回診療やオンライン診療などの新たな取り組みが始まっている。気風があり、その他にも若手医師による様々な動きが進行中。そのチャレンジに、地域医療の未来が変わる可能性を感じずにはいられない。

医療と安心を届け、
通院困難者を救う巡回診療

「町は大きなホスピタル」、
日南病院のロゴマークが入った大きなワンボックスカーに5名のスタッフが乗り込む。
日南町の南西部、もう数km進めば島根県という奥深い集落、上萩山地区へ向かうためだ。

地区公民館である「つるぎ会館」に到着すると、手際よく処置・検査器具や薬の入ったボックスを車両から運び出す。長机に電子カルテを入力するノートパソコンを置けば、地区公民館の和室はあつという間に診察室に変わった。

厚生労働省の2022年度調査において、上萩山地区は新たに「無医地区(*)」に指定された。そのことから日南病院では23年10月より、毎月第3水曜日の午後、こちらで「巡回診療」を行っているのだ。

巡回診療は、医療機関の医師や看護師が地域に出向き、診療車あるいは廃校や集会所等のスペースを活用して一時的に診療所を開設する仕組み。同地区から日南病院までは車で約30分かかり、長時間の運転・移動は高齢者にとって体力的な負担が大きい。積雪が



▲超音波画像診断装置(エコー)を使って肩周りの検査を行う谷口医師。ポータブルながら精度が高く、こうしたデバイスが“届ける医療”的充実につながっている。

◀上萩山地区公民館の「つるぎ会館」。山深い地域に30世帯ほどが点在。会館まで歩ける距離ではない家も多く、巡回診療に併せて開催される「百歳体操」参加者の送迎も支援する。



▲この日の健康教室は、日南病院の高見徹名誉院長による認知症勉強会。受診者のみならず地区住民も参加して、予防や対応の仕方について知識を新たにした。



◆家族や生活背景を把握し、多職種で連携してサポート

この日の受診者は4名、なんと全員90代だという。看護師に伴われて入室した男性の受診者に、谷口医師は体を少し傾けて近寄り、「体調はいかがですか」と問いかける。「変わりやありません。ご飯も食べとります」と、元気な声で答える男

多い地区だけに、冬季はなおさらだ。しかし、地区公民館ならば自宅から近く、患者はもちろん送迎・付き添いをする家族の負担も軽減できる。主担当である内科の谷口尚平医師は、「町の端っこに住んでいるから医療が受けられない」ということにならないよう、私たちが地域に出向くことで住民の皆さんのがんを支えたい」と、この新たな事業に力を注ぐ。

この日の受診者は4名、なんと全員90代だという。看護師に伴われて入室した男性の受診者に、谷口医師は体を少し傾けて近寄り、「体調はいかがですか」と問いかける。「変わりやありません。ご飯も食べとります」と、元気な声で答える男

受付や医療費の計算を行う医療事務スタッフ、待合の間で体操教室を指導するリハビリスタッフ、車両の運転手まで含めて1つのチーム。見事

日南病院 内科
(総合診療専門医)
たにぐち しょうへい
谷口 尚平 先生



*無医地区
病院や診療所がない地域で、地区的中心的な場所を起点として半径約4km以内に50人以上が居住しており、かつ定期交通機関が乏しく、容易に医療機関を利用することができますない地区。

性。続けて畑で育てている野菜のことなどもおしゃべり。谷口医師は「うんうん」と、うなずきながら傾聴。診察に直接関係のない話のようでも、「毎日どんなふうに過ごしているのか、生活での困り事はないか、そんなところに体調変化の兆しがわずかでも隠れているかも知れない」と考えるからだ。

医師だけでなく看護師も、受診者の様子に気を配る。診察前に体重・血圧・酸素飽和度を測定、最近の様子などを尋ね、検査数値とともに谷口医師へ伝える。また、付き添いの家族への声かけも忘れない。「家族から見た患者さんの様子を知りたいし、何より家のキーパーソンとなる人が元気じやないといけないから」と、さりげなくサポートする。

受付や医療費の計算を行う医療事務スタッフ、待合の間で体操教室を指導するリハビリスタッフ、車両の運転手まで含めて1つのチーム。見事



「トリノス」って何?

ひなが育ち、飛び立ち、羽を休めに帰ってくる鳥の巣。それと同じように、鳥取の医学生らが語り合いながら成長し、未来へ飛び立つための“巣”にしてほしいという意味が込められています。

視野が広がり、考えが深まる

地域医療研修会

五感で感じる地域の魅力

岩美町探索&病院見学

8.22(金)

岩美町長との昼食懇談会

12:00
13:00

学生から質問が殺到!



長戸清町長が町の課題と医療の役割について講話されると、参加学生から相次いで質問が。理解の深化を感じられました。

レクチャー

13:30-14:50

レクチャー1 鳥取県東部圏域の保健医療について
講師 鳥取市保健所 長井大所長、竹安航医師

レクチャー2 岩美病院の医療について
講師 岩美病院 内科 吉田諒医師

吉田先生、竹安先生

9年目医師が再会!

▲ 講師の話を熱心に聞く参加学生。

異文化交流ワークショップ

講師 大山診療所 井上和興医師

まだ話したことのない学生同士でグループをつくり、対話的な振り返りを通して学生交流が促進されました。



▼ 医師の仕事!! 病院勤務を思い浮かべがちだが、保健所勤務など多様な働き方があることを知り、キャリア形成の参考になった。

卒業後はともに鳥取県内の自治体病院へ派遣される自治医科大学および鳥取大学特別養成枠の医学生が、地域医療への意識を高め、将来のイメージをより明確に持てるよう企画された、初めての取り組みです。

記念すべき第1回目は28名が参加。県東部の自治体病院見学、岩美町の探索などを行いつつ、将来同僚となる学生同士はもちろん、先輩医師や行政職員とも交流。

充実した2日間の様子をご覧ください!



8.21(木)

自治医大×鳥大特別養成枠 学生合同セミナー

トリノスセミナー

開催しました!

一日を振り返りながら楽しく親睦

実習報告会&交流会

実習報告会

18:00-19:00

実習の成果を発表!



▲ 見学・実習の内容や感想を発表して全員で共有。

学生&若手医師 交流会

19:00-20:30

協力してくださった病院・診療所の医師、鳥取市保健所や行政関係者など30名以上の方々に参加学生の実習報告発表をご覧いただいた後、交流会を行いました。

お弁当を食べながら自己紹介し、お互いの大学の話をしたり、少し先をいく若手医師からキャリアについて具体的な話を伺ったりしました。



自治体病院・診療所、保健所へ

8:30-16:00

両大学混成で5グループに分かれてそれぞれの訪問先へ向かい、見学・実習を行いました。

佐治診療所を訪れたグループは、鳥取市保健所も見学。病院とは違う保健所の業務内容に興味深く耳を傾けました。岩美病院を訪れたグループは実際の訪問診療に同行、地域医療の最前線を体感することができました。



グループに分かれて訪問

鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、佐治診療所
鳥取市保健所、岩美病院、智頭病院

参加学生の声

▼ 丁寧に院内施設を紹介してもらえて充実していました。

また、院長先生を含め多くの先生方から将来の目標すべき医師の姿を学ぶことができた。

▼ 少人数だったの検査を実際に体験させていただけ、とても学びになりました。

▼ 将来勤務する可能性のある病院での実際の生活や、これまでのキャリアを聞くことで、卒後のイメージがより具体的になつた。

▼ 岩美病院では行政と連携し様々な支援制度を整えて、地域住民に寄り添った医療を提供できるよう体制が整えられていると感じた。

▼ 岩美病院では行政と連携し様々な支援制度を整えて、地域住民に寄り添った医療を提供できるよう体制が整えられていると感じた。

▼ 岩美町内を自分たちの目で見て歩いた後に町長のお話を聞いたことで、地域への理解が深まつた。五感で得る情報の大切さを実感した。



▼ 医師のうちに特別養成枠と自治医科大学との交流があるのは非常に有意義だと思った。

一度は行くべし! TOTTORI★イチオシ名鑑

地元の魅力を知り尽くす謎の編集部員「SR」が、観光地とグルメを毎号1カ所ずつご紹介します。せっかくの鳥取LIFE、楽しめなきゃ損ですよ!

ふ地良さに愛犬もウットリ ジーンと染み入る鳥取の古湯

1000年以上の歴史があり、「鳥取の奥座敷」と呼ばれる吉岡温泉。昔ながらの温泉街をゆくと現れるのがコチラ、源泉かけ流しの日帰り温泉施設です。木風呂と岩風呂の大浴場には開放感あふれる露天風呂や打たせ湯も。50°Cを超す源泉を活かした熱~い湯に日々の疲れが吹き飛びます。弱アルカリ性でお肌に優しいのも特徴です。

面白いのは犬専用の湯治風呂もあること。ドライヤーやペットシートなども完備。シャンプーでさっぱりした後ポッカポカのお湯にゆったり浸かれば、わんこのお目々もトロ~ンなのです♡



吉岡温泉会館 一ノ湯



住 鳥取市吉岡温泉町666
0857-57-0555
営 8:00 ~ 21:00(最終受付20:30)
休 不定休
料 高校生以上700円、小・中学生350円、65歳以上600円
P あり(無料)
車 山陰道吉岡温泉ICから車で約3分

遊
@ Eastern /

「わんこの湯」の情報は
こちらからどうぞ!
わんこの湯 Webサイト

食 @ Western / らあ麺 池島



味の立体感マシマシ!! 白トリュフの香り立つ一杯

研究熱心な店主が紡ぎ出すスープは、大山豚、大山ハーブ鶏、境港産いわし煮干し、数種の節類や乾物、宍道湖産シジミなどから取る出汁により、豊かな膨らみと透明感が同居。繰り返し押し寄せる旨味の波に舌の味蕾も喜ぶよう。

そこにさらなる深みと広がりを加えるのが、白トリュフオリーブオイル。醤油との相性抜群で、細身のストレート麺に絡んでするたびに芳醇な香りがフワリ。低温調理でしつこ食感に仕上げた大山豚と大山ハーブ鶏のチャーシューも絶品。はじめの一口から最後の余韻まで味わい尽くせますよ!

▲白トリュフオリーブの特製醤油らあ麺 1,600円
住 西伯郡大山町富長123
050-8884-9898
営 11:00~LO14:30
金・土・日曜日の18:00~LO20:00
休 火曜日、水曜日
P あり(無料)
車 山陰道名和ICから車で約7分

待ち時間が少ない
Web予約をどうぞ!



若手医師・医学生REPORT DOCトリ!のタマゴ

「これから“DOCトリ!”になるぞ」と頑張っている先輩たちに、これまでの歩みや現在の様子を聞いちゃいました!



山陰労災病院
臨床研修1年目
こばやし まさのり
小林 正典 先生

2018年 東海高等学校(愛知県)卒業
2025年 鳥取大学医学部医学科 卒業
2025年 山陰労災病院 臨床研修医



鳥取大学
医学部医学科 6年
おくの みか
奥野 光夏さん

2020年 米子東高等学校 卒業
2020年 鳥取大学医学部医学科 入学

二次救急や内科の実践を重ね、力を付ける

私は、自然豊かで人の温かさにあふれる鳥取県で、地域に根差した医療を実践したいと考え、鳥取県での勤務を決めました。

山陰労災病院での研修を希望した理由は、二次救急の初期対応を臨床研修医が行えること、内科的な疾患の管理や治療についてしっかりと学ぶことができるからです。研修では指導医の先生方に手厚くご指導していただいており、日々研鑽を積んでいます。

時間外の救急対応は任意であり、都合に合わせて勤務を調整できることが当院の大きなメリットです。臨床研修が始まって半年以上が過ぎ、最

初は右も左も分からなかつた

救急外来の初期対応もなんと

かこなせるようになりました。

挿管や腰椎穿刺なども経験さ

せていただいています。

研修医同士の仲が良く、誕

生日パーティーをしたり一緒に

旅行に出かけたりすることも

あります。

あり、充実した研修を送っています。

最近の楽しみは、家で食べる妻の手料理です。ハンバーグやオムライス、パスタなど、様々な料理を作ってくれるんです。ただいま我が家家のトレンドは「ロールキャベツ」。

野菜を美味しく摂取できるし、ご飯がよく進むので、とても気に入っています♪

私が地域枠を選んだのは、地元である鳥取県で働きたいという思いがあつたからです。6年間の大学生活を振り返って、この枠を選んで良かったと感じています。授業や地域枠のイベントを通じて地域に出る機会があり、鳥取県の医療や住民の方々の暮らしについて早い段階から学び、考えることができ、とても貴重な経験となりました。

また、仲間が多いことも地域枠の魅力の一つです。6年生になり将来について考える中で、これから多くの同期と共に、同じ地域で支え合いながら成長していくことに心強さを感じています。



わたしの鳥取 LIFE!
素の自分に戻れる故郷の美しい海岸

休日は、美味しいものを食べに出かけたり、自然の中で過ごしたりしてリフレッシュしています。お気に入りのスポットは「皆生(かいせい)海岸」。波の音を聞いているだけで癒されます。夜には流れ星が見えることも。心落ち着く、大好きな場所です!